



題材	よく見てかこう -絵に表す-			4・5月(9時間)
目標	くすの木を中心とした風景の形や色の面白さを感じ取り、用いる表現技法や色づかいを工夫して、絵の具でかく。			
評価規準	(①知・技) 水彩絵の具の混色や重色の表現の特徴に気付き、表したい感じに合わせて、表したい色に近い色をつくったり、適切に表現技法を用いたりしてかく。 (②思・判・表) くすの木を中心とした風景を見て感じ取った形や色の面白さを効果的に表す表現方法を考える。 (③主体的態度) 形や色の微妙な違いに興味をもち、くすの木を中心とした風景をじっくりと見つめ、意欲的に表現に取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○幹に触ったり、くすの木の色探しをしたりして、特徴的な形や色を見付ける。	○木の形や色の面白さを感じられるように、くすの木を実際に見たり触ったりする時間を十分に確保する。	◇触った感じや見つけた色について発言しながら、くすの木に近付いたり、離れたりに見て、見つけた特徴的な形や色について書き込んでいる。 <学習プリント③>
あ ら わ す ・ ひ ろ げ る	2	○感じ取った形や色の面白さが表れるような構図を考え、画用紙に下絵をかく。	○見つけたくすの木の特徴が伝わる表現方法を考えられるように、友達と見比べられる配置にする。	◇構図を考え、形の微妙な違いを確かめながら下絵をかいている。 <作品②>
	5	○葉や幹の感じが出るように、色のつくり方やぬり方、筆のタッチなどを工夫して、絵の具で彩色する。 ・色の混色の仕方について知る。 (薄い色に濃い色を少量ずつ混ぜて調節する。試し紙で試す。) ・本物と同じ色にしようとするのではなく、自分で感じた色に近い色をつくる。 ・ぼかしやにじみを活用したり、葉や幹の質感によって筆のタッチを変えたりして彩色する。	○見つけたくすの木の特徴が伝わる表現方法でかけるよう、色のつくり方やぬり方、筆のタッチなど、異なる方法でかく子どもを紹介する。 	◇自分の表したい色のつくり方やぬり方、筆のタッチなどを試しながらかいている。 <行動・作品②>
ふりかえる	1	○作品を見て気付いた工夫を発表し合ったり学習プリントに書いたりする。	○構図や配色、表現方法の様々な工夫に気付けるよう、自分自身の表現を伝え合う機会や見合う機会を設ける。	◇構図や配色の工夫、表現方法の工夫などについて気付いたことを発表したり、学習プリントに書き込んだりしている。 <学習プリント①>
共通事項	象をよく見て、絵の具でかく活動を通して、かく対象の形や色の微妙な違いや変化を捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】 ・3年「絵の具のまほうつかい」で学習した絵の具の使い方を生かして表現できるようにするため、パスが主にならないように留意する。 ・天候に左右されるため、タブレットなどでかく風景を記録しておく。 ・準備物 四つ切り画用紙、絵の具セット、クレパス、画板、クリップ、タブレット ※教科書3・4上…P28, P56・57				

題材	2 クレイ UMA -立体に表す-			6月(5時間)
目標	自分なりに想像をふくらませた想像上の動物の表し方を考え、粘土の加工方法を工夫して、石粉粘土で立体的に表す。			
評価規準	(①知・技) 立ち上がった粘土の形の面白さを見付け、粘土の立たせ方や切り系やかきべら等の用具を使って表し方を工夫している。 (②思・判・表) 板状や棒状の粘土をバランスよく立てる方法を試し、生まれた形からつくりたいものを考えている。 (③主体的態度) 板状や棒状の粘土を立ち上げ、色々な方法で形を変え立体に表すことに楽しんで取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○へらやのし棒を使いながら、粘土を立ち上げることを知る。 ○自分の好きな方法で粘土を立ち上がらせる。	○粘土の塊が立体として立ち上がることが分かるよう、板づくりの方法を演示する。 ○立ち上がった粘土の特徴に気付くことができるよう、友達と感じたことや気付いたことを話し合う時間を設定する。	◇立ち上げる方法を選び、粘土を板状にしたり、棒状にしたりし、塊と立ち上がった粘土の印象の違いや立ち上げるための工夫について記述している。 <作品②>
あらわす・ひろげる	3	○用具の使い方を工夫して粘土のバランスや自立を意識し、粘土に働きかけながらつくりたい形をつくる。	○自分なりの想像上の動物のイメージに合わせて、加飾の方法を工夫することができるよう、かきだしべらなどの用具を用意する。	◇いろいろな方向から見ながらついたり、用具や表し方を試したりしながら、自分のイメージに合う方法をつくっている。 <作品①>
ふりかえる	1	○作品に題名を付け、自分や友達の作品のよさや工夫を見付け、伝え合う。	○自分なりの想像上の動物のイメージを意識することができるよう、題名を付けて展示する場を設定する。	◇題名の意図が伝わるように、高さや向きを変えながら展示している。 <学習プリント③>
共通事項	立ち上がった粘土の形をとらえ、つくりたいもののイメージをもつ。			
【備考】 ・粘土は、紙粘土一人2kgを使用 ・準備物 粘土、粘土板、へら、切り系、手拭き用雑巾、どべ(粘土を水で溶いたもの) ※乾燥防止用のタオルとレジ袋を各自で用意するよう伝えておく ※教科書3・4上…P32・33				

題材	3 ウッドラボ -工作に表す-			6月(4時間)
目標	様々な木片の形を生かして表すものを考え、両刃のこぎりを適切に扱って様々な木片をつくり、木片の様々な形を生かしてつくりたいものをつくる。			
評価 規準	(①知・技) 両刃のこぎりや木エヤスリを適切に扱いながら、木材を切ったり木片の組合せ方を工夫したりして表している。 (②思・判・表) 木片の形や木の質感を生かして、つくりたいものを考えている。 (③主体的態度) 様々な木片を使っていろいろな形をつくることに楽しんで取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○刃を入れる向きを考えながら木材を切ったり、角を削ったりして、面白いと思う形の木片をつくる。 ・両刃のこぎりの扱い方を知る。 縦引き…木目に合わせて切る。 横引き…木目を断つ向きに切る C型クランプ…木材の固定に使用する。	○子どもたちが切った形に変化がつくよう、様々な形の木切れを準備しておく。 ○安全に気を付けて活動できるように、両刃のこぎりの扱い方を助言したり、演示したりする。 ・切り始めは、刃を水平に近付けること ・柄の端を持つようにすること ・刃全体を使うこと ・力を抜いて切るとよいこと	◇ 両刃のこぎりを用いて木材を縦引き、横引きで切ったり、切った木片を見比べたりしている。 <行動・発言②>
あ ら わ す ・ ひ ろ げ る	2	○自分で切った木片の中から、面白い形の木片を選び、釘やボンドで接合して、つくりたいものをつくる。	○接合や飾りの方法を試すことができるよう、両面テープ、ボンド、アイス棒を用意した材料コーナーを設定する。	◇ 木片を選んだり、木片の組み方を変えたりしながら、接合の方法を選んでつくっている。 <行動①>
ふ り か え る	1	○作品を手に取り、自分や友達の作品のよさや工夫を見付け、伝え合う。	○つくったものを並べたり、動かしたりすることができるよう、つくったもので遊ぶ時間を設ける。	◇ 手に取ったり、並べて遊んだりしながら、木材の質感や形の面白さについて発言している。 <学習プリント③>
共通事項	木材を切ったり削ったりする感覚や活動を通して、形や組合せなどの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】 ・木材業の方に、不用材として木端を依頼しておく。または、ホームセンター等で不要木材を安く購入する。 ・両刃のこぎりなので、横びきと縦びきについて簡潔に指導する。 ・準備物 木材、両刃のこぎり、C型クランプ、木エヤスリ、紙ヤスリ、両面テープ、ボンド、アイス棒、小枝など ※教科書3・4下…P30・31, P58・59				

題材	4 学校旅行 -鑑賞-			7月(2時間)
目標	校舎内や校庭にある身近な風景を見て、面白さを感じ取ることができる。			
評価 規準	(①知・技) 身近な風景を見て、その一部分を見立てて生まれる面白さを見付け、工夫して場に働きかけている。 (②思・判・表) 見立ての面白さを生かして、場への働きかけ方を考えている。 (③主体的態度) 校舎内や校庭にある身近な風景に関心をもって見ようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	1	○校舎内や校庭にある風景を撮影した参考作品を見て、イメージできるものについて発表し合う。	○同じものや場所でも、見る方向によって見え方が変わること気付くことができるよう、校舎内や校庭にあるものの向きを変えて撮った写真を用意する。	◇校舎内や校庭にある身近な風景を写真に撮って、ものや場所を決めている。 <行動・学習プリント②>
あら わす ・ ひろ げる	1 1	○校舎内や校庭を見て回り、別のものに見えるものや場所を探し、その見せ方を班で話し合う。 ○班で見付けたものや場所に働きかけて写真を撮る。	○班で見せ方を考えたり、見立てたイメージを共有したりすることができるよう、ペアで撮影する機会を設定する。 ○元の形や見え方が生かせるよう、撮影する際の角度や距離などの視点を提示する。	◇班のイメージを確認したり、余計な飾りを取り除いたり、付け変えたりしながら、写真を撮り直している。 <行動・学習プリント①>
ふり か え る	1	○持ち寄った写真を学級で見合いながら、イメージできるものについて話し合う。	○様々な見方があることの面白さを感じることができるよう、活動の記録を紹介する機会を設定する。	◇様々な見え方に共感したり、新しい見え方を探そうとしたりしている。 <発言・学習プリント③>
※事項	校舎内や校庭を見たり見立てたりする活動を通して、身近な風景の形や色、組合せなどを捉え、自分のイメージをもつ。			
【備 考】	・準備物 ※後片付けも考えて、材料は紙テープ、紙紐、色画用紙、ペンとする。 ※教科書3・4下…P52・53			

図画工作科 4年



題材	5 ころがれ どこまでも -工作に表す-		8・9・10月(10時間)
目標	高低差を利用したビー玉が転がる仕組みの作り方を考え、形や色、強度などを工夫して表すことができる。		
評価規準	(①知・技) 自分の意図したビー玉の動きになるように、仕組みにあった紙の扱い方や身边材の組合せを工夫して表している。 (②思・判・表) 高低差を利用したビー玉が転がる仕組みに興味をもち、どのように転がると楽しいか、全体の形や仕組みを考えている。 (③主体的態度) 自分や友達の商品で遊びながら、試行錯誤して表現の工夫や面白さなどを捉えている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	2	○高低差を利用したビー玉が転がる仕組みを、筆記用具を並べたり、紙を使ったりして試しにつくる。	○作品づくりへの興味をもてるよう、箱を使った高低差のあるビー玉が転がる仕組みを生かした参考作品を提示する。
	7	○ビー玉の転がる楽しい仕組みを考え、材料の扱いや接着を工夫してつくる。 	○自分の思い付いた楽しい仕組みをつくることのできるよう、加工のし易さや強度の違う色紙、画用紙、ケント紙、巻きダンボール、工作用紙を用意する。 ○自分の思い付いた楽しい仕組みに合わせた強度を得ることのできるよう、構造的な強度をもつ、接着面の広い箱を用意したり、自分の使いたい箱を家庭から持ってくるよう指示したりする。 ○自分や友達のつくった仕組みで遊びながら、楽しいビー玉の転がる仕組みに気付いたり、思い付いたりできるように、遊びながら見せ合う機会を設定する。
あらわす・ひろげる	2	○仕組みが安定するための台座を、形に台座の形や組合せを試しながらつくる。	○ビー玉の転がる仕組みが安定し、場所を移動しても遊べるように、形や接着方法を試しながら台座を決められるよう、様々な大きさの段ボールを用意する。
	1	○自分と友達の商品で遊びながら、よさや工夫を紹介し合う。	○ビー玉を転がして遊ぶ楽しい仕組みや、思い付いた仕組みを丈夫につくる工夫を見付けることができるよう、自分と友達の商品で遊ぶ時間を確保する。
ふりかえる			○自分の商品の工夫した点を友達に紹介したり、友達の商品で遊びながら面白い点を賞賛したりしている。 ＜行動・発言③＞
共通事項	ビー玉を転がして遊ぶ楽しい仕組みを紙でつくる活動を通して、形や色、組合せなどの感じを捉え、自分なりのイメージをもつ。 ※教科書3・4下…P14・15		

図画工作科 4年

題材	6 すみですみか -造形遊びをする-			10月(4時間)
目標	学校の中の場所の様子を基に、そこにあると面白いすみかの形や色を考え、身の回りにある材料を生かしてつくる。			
評価 規準	(①知・技) 身近な場所の形状を基に考えたすみかの形や色に合った材料の組合せ方を工夫している。 (②思・判・表) 学校の中で見付けた場所の形状に合ったすみかの形や色を考えている。 (③主体的態度) 友人が見付けた場所と、そこに合わせてつくりだしたすみかの形や色の面白さを感じ取っている。			
過程	時間	学習活動	導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○自分たちのすみかをつくるとしたら、どの場所が活用できそうか考える。	○階段のコーナーや柱など、その場所の建造物の生かし方に気付くことができるよう、教室の隅で空間の作り方を演示する。	◇校舎内や校庭にあるものの構造を基に、すみかをつくる場所を選んでいる。 <学習プリント②>
あらわす・ひろげる	2	○いろいろな材料を試しながら、つくりたいすみかをつくる。	○片付けや持ち運びがし易いよう、最初の1時間は大きさなどを試しながら部品をつくり、後半の1時間で組み立てる製作の過程を示す。	◇校舎内や校庭にあるものの構造を生かした区切り方やその場所に合った形や色になるよう、材料の組み合わせや加工の仕方を工夫している。 <学習プリント①>
ふりかえる	1	○できたすみかを互いに訪問し、つくったすみかやそこでの暮らし方などを友達と紹介し合い、互いのすみかのよさや面白さに気付く。	○訪問した際に互いの考えを共有することができるよう、感想を貼って残すための付箋を用意する。	◇温度や広さなど身体感覚を働かせて、すみかに入って感じたことや気付いたことを話したり、記述したりしている。 <付箋③>
共通事項	身近な場所や材料の形や色をとらえ、すみかをつくるイメージをもつ。			
【備考】	・準備物 段ボール、プラ段ボール、画用紙、共同絵の具、段ボールカッター、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤、粘着テープ、両面テープ ※教科書3・4上…P32・33			

題材	7 彫って重ねて版版画			11・12月(8時間)
目標	自分がなってみたいものや行ってみたい場所を考えて想像した世界を、木版画に表す。			
評価 規準	(①知・技) 彫刻刀を使い分けて彫ったり、印刷用具を正しく扱って刷ったりして表す。 (②思・判・表) 自分の生活の一場面を選び、複数の色のバランスや配置を考える。 (③主体的態度) 彫刻刀で彫ったり、版を刷ったりすることに楽しんで取り組み、版表現のおもしろさや工夫に気付く。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○各種の版表現を見比べ、表し方の違いや、つくり方などについて話し合う。	○多版多色刷り木版画の表現に興味をもてるように、紙版、身边材を使った版、多色刷り木版などを提示する。	◇版を彫る感触や、版で表すことを楽しんでいる。 <行動・発言③>
あ ら わ す ・ ひ ろ げ る	6	○自分なりの思いを、自分の生活の一場面を基にアイデアスケッチする。 ○下絵をかき、版に写し、彫刻刀の方向や表現の違いを試しながら版を彫り、刷る。	○複数の色のバランスや配置に気付くことができるよう、筆で墨入れをする機会を設定する。 ○正しい扱い方で線彫りや面彫りの仕方を身に付けられるように、試し彫りができる材料を用意する ○適切な刷り方を身につけられるよう、手順を提示し演示する。	◇複数の色のバランスや配置などを少しずつ変えながらアイデアスケッチに表している。 <行動・発言②> ◇表現意図に応じて彫る向きや彫る量を工夫したり、彫刻刀を使い分けたりして彫っている。 <行動・作品①>
ふ り か え る	1	○刷り上がった作品を見合い、木版のおもしろさや、彫りや刷りの工夫を見付ける。	○発想や表現の工夫に気付いている子どものよさを称賛する。	◇木版による表現の楽しさを味わい、自他の発想や表現の工夫に気付いている。 <行動・学習プリント③>
※事項	多版多色刷り木版画で想像の世界を表す活動を通して、2版の重なりによって生まれる形や色、組合せの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】	・準備物 版木、版画用紙、インクローラー、インク練り板、ばれん、彫刻刀、版画台、新聞紙、雑巾 ※教科書3・4下…P48・49, P62・63			

題材	8 光を感じて			1月(4時間)
目標	光を通す材料を使って、形や色の美しさや面白さを感じ取り、場所の感じを楽しく変える。			
評価規準	(①知・技) 場所の感じの変化を捉え、場所の感じが変わるように、光を通してできる形や色の重ね方や組合せ方を表している。 (②思・判・表) 光を通してできる形や色を生かして、場所の感じが変わるように、光を通してできる形や色の見え方を考えている。 (③主体的態度) 光を通してできる形や色の美しさや面白さを感じ取りながら、場所の感じを楽しく変えることに取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点(☆は、研究に関わる手立て)	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○透明ビニル傘に自分の好きな色のセロハンを1枚貼って、様々な場所で光を感じる。	○色セロハンの光を通した感じや、場所の感じの変化を捉えることができるよう、コンクリートや地面、遊具など様々な場所で試す時間を設定する。	◇いろいろな場所で、光を通してできる形や色見え方を試している。 <行動②>
あらわす・ひろげる	2	○透明ビニル傘に油性ペンで色を塗ったりセロハンを貼り付けたりしたものを、並べたり、かさねたりして場所の感じを変える。 	○場所の感じを楽しく変えることができるよう、色の重ね方や組合せ方を試すことのできる大・小の色セロハンと、持ち運びやすく、吊したり、置いたりできる透明ビニル傘を学習材として設定する。 	◇光を通してできる形や色の重ね方や組合せ方を試したり、感じが変わりそうな場所を探したりしている。 <行動・発言①>
ふりかえる	1	○友達と鑑賞し合ったり、話し合ったりしながら、光を通してできたものや場所の変化を楽しむ。	○工夫した置き方や組合せ方による場所の変化を捉えることができるよう、感じたことなどを伝え合う時間を設定する。	◇自分や友達のつくったものを見ながら、光を通してできる形や色について、感じたことや表現の工夫について話している。 <行動・発言③>
共通事項	光を通してできる形や色の美しさや面白さを感じながら、身近な場所を変える活動を通して、形や色などを捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】 ・準備物 ビニル傘、油性ペン、セロハン等 ※教科書3・4下…P8・9				

題材	9 光でかざろう			1・2・3月(10時間)
目標	全体のつながりを意識しながら、線のつながりや色の組合せを工夫し、工作用具を適切に扱ってステンドグラスをつくる。			
評価規準	(①知・技)ステンドグラスの美しさや光を生かした表現の特徴を生かして、カッターナイフで切り抜いたり、つながりや美しさを意識して彩色したりする。 (②思・判・表)卒業や入学を祝うためのテーマや場面に合わせて、背景の線の入れ方、色の組合せを工夫する。 (③主体的態度)ステンドグラスの表現のよさや、気持ちを伝えるための主題設定の価値を実感する。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	1	○卒業式に向けて、体育館ギャラリーの窓に6人1組でつくったステンドグラスを飾ることを知り、テーマについて話し合う。	○学習の見通しをもつことができるよう、卒業式にふさわしいテーマについて話し合う機会を設定する。	◇卒業にふさわしい場面を話し合い、共同でつくることを楽しんでいる。 <行動・発言②>
あらかわす・ひろげる	8	○参考作品を基に、表現のよさを話し合い、計画を立てる。 下絵→厚紙に写す→切り抜き→着色 ○2人～4人1組でグループをつくり、つくりたいテーマを決める。 友達との絵がつながって1枚の絵になるように、話し合いをしながらアイデアスケッチをかく。 ○切り抜いたときに落ちる部分がないように、線のつながるところや切り抜く部分の大きさを考えて厚紙に下絵をかく。 線の丈夫さやビニルを貼るための太さを考えて、墨で下絵の線を太く塗る。 (周りの枠…4cm以上、線…2cm以上) カッターナイフで白い部分を切り抜く。 裏からビニルを貼り、色の組み合わせや配色を考えて油性カラーペンで着色する。	○ステンドグラスにあった下絵を思い付くことができるよう、友達と相談しながら、アイデアスケッチをする時間を設定する。 ○切り抜いたときに落ちる部分がないよう、友達と見合いながら切りぬく時間を設定する。  	◇単純化したり、省略したり、絵がつながるように周りの下絵と線を合わせたり、背景を波線や模様などで処理したりしてアイデアスケッチをかいている <行動・学習プリント②> ◇表したいものが分かるように、つながりを考えて下絵をかいたり、カッターナイフを適切に扱って切り落としがないように切ったり、配色を考えて色を塗ったりしている。 <行動・作品①>
ふりかえる	1	○窓に飾り、ステンドグラスの美しさを味わう。	○ステンドグラスの美しさや光を生かした表現のよさなどに気付くことができるよう、他のクラスの作品も含めた鑑賞会を設定する。	◇色面を黒で分割することで生まれる引き締まった感じや発色の美しさ、光を生かした表現のよさなどに気付いている。 <行動・学習プリント③>
共通事項	紙とビニルシートを使ったステンドグラスを共同で表す活動を通して、黒い縁取りとそれによって生まれる色の鮮やかさ、光を受けて変わる見え方の違いの感じを捉え、自分のイメージをもつ。			
【備考】	・準備物 72cm×52cmの白ボール紙。(6枚1セット、体育館ギャラリーの窓枠に飾る。)、透明ビニル袋、墨汁、油性カラーペン、カッターナイフ、カッター板、両面接着テープ ・飾り付けの1時間は、学校行事とする。・飾り付けの際は、隣り合う2つ分の作品の裏面をガムテープでとめておく。飾り付け用の木材は第1図工室に保管。(1つの作品に両端と真ん中の2カ所をとめる。) ・体育館に飾られた作品を鑑賞する機会を設ける。 ※教科書3・4下…P44・45			